

東北大学隔離圃場現地調査結果概要について

平成 21 年 4 月 30 日

生命倫理・安全対策室

1. 日時 平成 20 年 12 月 8 日(月) 13:30~15:00
2. 場所 東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター・
隔離圃場
3. 調査担当者 文部科学省 : 井上 室長補佐心得、伊藤 係員
環境省 : 宇賀神 室長補佐
4. 対応者 東北大学 : 日出間 東北大学大学院生命科学研究科准教授
5. 東北大学隔離圃場の確認の概要
東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育センター・隔離圃場における
設備・措置を確認した。
 - ① 試験区からの排水は傾斜に沿って圃場の排水溝に流れ込む仕組みになっている。実際には大部分が圃場の土に浸透すること。
(排水は地下に浸透していくため、種子等が圃場の外部へ流出する可能性は低い。)
 - ② 試験区内では、S-C、AS-D、非組換えイネの 3 種類のイネのみを栽培する予定。
 - ③ 貯水池は漏水を防止するため、ビニールシート等で補強。
 - ④ 圃場外への排水の流出を防止するため、堤防を設置。
 - ⑤ 部外者の立入りを防止するため、フェンスや出入り口の標識を設置。なお、標識については事業名等更新し、再度設置する予定。
 - ⑥ 使用した機械、器具、靴等に付着した土を洗浄するための洗場を設置。
 - ⑦ 防雀網は出穂前には試験区全体を覆うように設置する予定。
 - ⑧ 種子はオートクレーブにより、不活化。



図 1. 試験区



図 2. 排水溝



図 3. 排水ポンプ



図 4. 貯水池



図 5. 堤防



図 6. 壕



図 7. 出入り口 (標識)



図 8. フェンス (下部)



図 9. 洗場



図 10. 出入り口 (靴洗い場)



図 11. オートクレーブ



図 1 2 - 1 . トラクター



図 1 2 - 2 . トラクター